

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	舞鶴市	代表者名	多々見 良三
担当者部署	情報システム課	連絡先電話番号	0773-66-1092
担当者役職	主査	担当者氏名	桑田真美
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	目標とアイデアはあるが、そのサービス案をどう作ればいいのか模索していたが、そのアイデアを「縦に繋げる」方法を具体例を挙げて分かりやすくご説明いただき、次の展開への道筋が見えた。
アドバイザーへの要望事項	来年度、サービス案ができたらかご助言いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年3月5日	10時00分	11時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	舞鶴市役所		最寄駅	東舞鶴駅
	所在地	舞鶴市字北吸1044番地		最寄駅からの交通手段	タクシー5分(徒歩15分程度)
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	企画政策課、子ども支援課、健康づくり課、改革推進課、情報システム課職員	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	子育て世代をターゲットとした次世代型サービスの検討しており、各種子育て関連サービス(母子手帳、情報発信、あそび場提供、預かりサービス、キャッシュレスなど)をICTで効果的に活用したサービスを策定したいが、情報不足もあり検討が進まない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	サービス策定にむけた道筋を得る。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援のアイデアを個々で出してそれを「縦に繋げる」という考え方とその具体例。 新たな市民IDを発行するよりは、マイナンバーを活用したほうがいい。舞鶴市よりも規模の小さい町でフェリカカードを導入したが運用コストに数千万円もかかった例がある。 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援のアイデアは持っていたが、それをどう展開していけばいいのか発想がなかった。今回「アイデアを縦に繋げる」という助言をいただき、今まで持っていたアイデアが繋がり、次の展開が見えてきた。 新たな市民IDのカードを作るよりも、マイナンバーカードを活用するほうが良いように思えてきた。これが普及のきっかけになれるかもしれない。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを行う必要がない事業だから。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

